

令和5年度 農作物病虫害発生予察8月月報

令和5年(2023年)9月1日
山口県病虫害防除所

I 気象概況

アメダス山口県山口地点

月・半旬	気 温 (°C)								
	平 均			最 高			最 低		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
8.1	29.9	28.0	1.9	35.2	33.4	1.8	26.0	24.0	2.0
8.2	29.6	28.0	1.6	33.8	33.3	0.5	26.3	24.0	2.3
8.3	28.8	27.7	1.1	34.0	33.0	1.0	25.1	23.8	1.3
8.4	28.5	27.3	1.2	33.2	32.6	0.6	25.4	23.4	2.0
8.5	29.0	26.9	2.1	34.1	32.1	2.0	25.5	22.9	2.6
8.6	28.2	26.3	1.9	32.9	31.5	1.4	25.5	22.4	3.1
平均・計	29.0	27.4	1.6	33.9	32.7	1.2	25.6	23.4	2.2
月・半旬	降水量(mm)			日照時間(h)					
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
	8.1	0.0	27.8	△ 27.8	54.1	34.8	19.3		
8.2	77.0	27.1	49.9	14.9	34.1	△ 19.2			
8.3	3.0	31.6	△ 28.6	37.2	32.0	5.2			
8.4	0.5	34.9	△ 34.4	22.1	30.5	△ 8.4			
8.5	28.0	35.0	△ 7.0	35.3	29.5	5.8			
8.6	13.0	42.6	△ 29.6	41.4	33.6	7.8			
平均・計	121.5	199.0	△ 77.5	205.0	194.5	10.5			

II 作物の生育状況

- (1) イネ : 早生の出穂期は、平年並～やや早くなった。
中生～晩生は、莖数は平年並～やや少なく、出穂期は平年並～やや早くなった。
- (2) ダイズ : 6月播種の開花期は概ね平年並。8月以降は、気温が高く、降水量も少ないため、一部ほ場では落花・落莢が見られた。
- (2) カンキツ : 着果量が多い傾向であるが適度な降雨があり、果実肥大はやや小～平年並に推移している。
果実分析結果（一部産地）では、平年に比べ糖度は高く、酸度は低く推移している。

Ⅲ 病害虫の発生状況

1 普通作物

2023年8月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
イネ いもち病(葉いもち) (調査ほ場数：上旬83、 下旬35)	上旬の巡回調査では、発生ほ場率34.9% (平年23.8%)、発病株率17.5% (平年 10.2%)、発病度4.4 (平年2.7) で平年 に比べやや多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率31.4% (平年17.0%)、発病株率11.9% (平年 6.1%)、発病度3.0 (平年1.7) で平年 に比べやや多かった。病斑は停滞型で あった。	県内全域	中 448
			少 2,016
			計 2,464
いもち病(穂いもち) (調査ほ場数：上旬37、 下旬47)	初発生は、8月7日(平年8月14日)に 山口市で確認し、平年に比べ早かった。 上旬の巡回調査では、発生ほ場率2.7% (平年3.7%)、発病株率0.3% (平年 0.7%)、発病穂率0.0% (平年0.1%) 発 病度0.0 (平年0.0) で平年並みであっ た。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率21.3% (平年17.0%)、発病株率3.5% (平年 3.5%)、発病穂率0.6% (平年0.6%) 発病度0.3 (平年0.4) で平年並みであっ た。	県内全域	中 224
			少 2,016
			計 2,240
紋枯病 (調査ほ場数：上旬83、 下旬83)	上旬の巡回調査では、発生ほ場率16.9% (平年10.1%)、発病株率2.2% (平年 1.2%)、発病度0.5 (平年0.3) で平年 に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率24.4% (平年22.2%)、発病株率3.0% (平年 3.4%)、発病度1.1 (平年1.0) で平年 並であった。	県内全域	少 4,704
ごま葉枯病	上旬の巡回調査では、発生ほ場率21.7% (平年11.0%)、発病株率8.9% (平年 3.1%)、発病度2.2 (平年0.8) で平年 に比べやや多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率39.8% (平年19.8%)、発病株率19.4% (平年 8.6%)、発病度4.9 (平年2.2) で平年 に比べ多かった。	県内全域	中 2,016
			少 5,152
			計 7,168
縞葉枯病	上旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.1%)、発病株率0% (平年 0.0%) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.6%)、発病株率0% (平年 0.0%) で平年並みであった。	—	—

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
イネ 白葉枯病、黄化萎縮病、萎縮病	上旬、下旬の巡回調査では、発生は認められず平年並みであった。	—	—
もみ枯細菌病 (調査ほ場数：上旬15、下旬41)	上旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年1.4%)、発病株率0% (平年0.1%)、発病穂率0% (平年0.0%) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年2.1%)、発病株率0% (平年0.2%)、発病穂率0% (平年0.0%) で平年並みであった。	—	—
ツマグロヨコバイ (調査ほ場数：83)	上旬の巡回調査では、発生ほ場率16.9% (平年26.4%)、10株当たり虫数0.2頭 (平年0.5頭) で平年に比べやや少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率15.7% (平年16.7%)、10株当たり虫数0.3頭 (平年0.3頭) で平年並みであった。	県内全域	少 2,916
セジロウンカ	上旬の巡回調査では、発生ほ場率15.7% (平年58.1%)、10株当たり虫数5.1頭 (平年23.3頭) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率20.5% (平年42.8%)、10株当たり虫数11.2頭 (平年7.5頭) で平年並みであった。	県内全域	中 224 少 3,589 計 3,813
トビイロウンカ	上旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年24.1%)、10株当たり虫数0頭 (平年3.2頭)、10株当たり短翅型成虫数0頭 (平年1.0頭) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年39.7%)、10株当たり虫数0頭 (平年33.4頭)、10株当たり短翅型成虫数0頭 (平年0.6頭) で平年に比べ少なかった。	—	—
コブノメイガ	上旬の巡回調査では、発生ほ場率63.9% (平年27.3%)、被害株率11.5% (平年7.5%)、被害葉率0.5% (平年0.6%)、20回払い出し虫数1.9頭 (平年0.7頭) で平年に比べやや多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率56.6% (平年28.4%)、被害株率17.3% (平年10.4%)、被害葉率0.8% (平年0.9%)、20回払い出し虫数0.2頭 (平年1.1頭) で平年に比べやや多かった。	県内全域	中 449 少 10,095 計 10,544

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
イネ イチモンジセセリ (イネツトムシ)	上旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年3.3%)、10株当たりつと数0個 (平年0.0個) で平年に比べやや少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年2.5%)、10株当たりつと数0個 (平年0.0個) で平年に比べやや少なかった。	—	—
斑点米カメムシ (調査ほ場数：上旬19、 下旬44)	上旬の巡回調査(出穂ほ場)における20回すくい取り調査では、発生ほ場率73.7% (平年61.9%)、虫数1.7頭 (平年2.5頭) で平年並みであった。主要種はイネカメムシ、クモヘリカメムシであった。 下旬の巡回調査(出穂ほ場)における20回すくい取り調査では、発生ほ場率68.2% (平年59.4%)、虫数2.9頭 (平年2.1頭) で平年に比べやや多かった。主要種はイネカメムシ、クモヘリカメムシであった。 7月26日～8月25日の予察灯(県内3か所)の誘殺数は、4,429頭 (平年1,293頭) で平年に比べやや多かった。内訳はクモヘリカメムシ404頭 (平年109頭)、アカスジカスミカメ3,145頭 (平年946頭)、アカヒゲホソミドリカスミカメ650頭 (平年90頭)、ミナミアオカメムシ37頭 (平年16頭)、イネカメムシ193頭 (平年133頭) であった。	県内全域	多 449 中 3,141 少 3,141 計 6,731
ニカメイガ (調査ほ場数：83)	上旬及び下旬の巡回調査では、発生は認められず、平年並みであった。	—	—
フタオビコヤガ	上旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.7%)、10株当たり虫数0頭 (平年0.0頭) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.5%)、10株当たり虫数0頭 (平年0.0頭) で平年並みであった。	—	—
イネヨトウ	上旬の巡回調査では、発生は認められず、平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.2%)、25株当たり虫数0頭 (平年0.0頭) で平年並みであった。	—	—
イネクロカメムシ	上旬の巡回調査では、発生ほ場率2.4% (平年1.4%)、25株当たり虫数0.0頭 (平年0.1頭) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率2.4% (平年1.4%)、25株当たり虫数0.1頭 (平年0.1頭) で平年並みであった。	県内全域	少 449
イネカラバエ	下旬の巡回調査では、発生は認められず、平年並みであった。	—	—

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
ダイズ べと病 (調査ほ場数：21)	下旬の巡回調査では、発生ほ場率38.1% (平年39.9%)、発病株率15.9% (平年29.9%)、発病度5.3 (平年7.5) で平年並みであった。	県内全域	中 136
			少 228
			計 364
葉焼病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率9.5% (平年11.1%)、発病株率6.3% (平年3.3%)、発病度1.6 (平年1.0) で平年並みであった。	県内全域	少 92
立枯性病害	下旬の巡回調査では、発生ほ場率4.8 (平年3.9%)、発病株率0.5% (平年0.1%) で平年並みであった。	県内全域	少 46
葉枯性病害 (褐色輪紋病)	下旬の巡回調査では、発生ほ場率4.8% (平年11.9%)、発病株率0.6% (平年6.8%) であった。	県内全域	少 46
吸実性カメムシ類	<p>上旬の巡回調査では、発生ほ場率47.6% (平年33.5%)、1㎡当たり虫数0.2頭 (平年0.3頭) で平年並みであった。主要種はアオクサカメムシ、ミナミアオカメムシであった。</p> <p>下旬の巡回調査では、発生ほ場率71.4% (平年37.5%)、1㎡当たり虫数0.5頭 (平年0.2頭) で平年に比べ多かった。主要種はホソヘリカメムシであった。</p> <p>7月26日～8月25日の予察灯 (県内3か所) の誘殺数は133頭 (平年54頭) で平年に比べやや多かった。内訳はアオクサカメムシ75頭 (平年25頭)、ミナミアオカメムシ37頭 (平年16頭)、イチモンジカメムシ21頭 (平年9頭) であった。</p>	県内全域	多 273
			中 409
			計 682
フタスジヒメハムシ	<p>上旬の巡回調査では、発生ほ場率47.6% (平年59.8%)、1㎡当たり虫数3.0頭 (平年2.6頭) で平年並みであった。</p> <p>下旬の巡回調査では、発生ほ場率57.1% (平年71.5%)、1㎡当たり虫数7.1頭 (平年14.8頭) で平年並みであった。</p>	県内全域	甚 136
			多 136
			中 136
			少 136
計 544			
ウコンノメイガ	<p>上旬の巡回調査では、発生ほ場率9.5% (平年16.3%)、被害株率0.2% (平年1.7%) で平年に比べ少なかった。</p> <p>下旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3% (平年25.4%)、被害株率2.9% (平年5.4%) で平年並みであった。</p>	県内全域	少 318

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)																			
ダイズ サヤムシガ類	上旬の巡回調査では、発生ほ場率47.6% (平年25.6%)、25株当たり被害か所数3.1 (平年0.9) で平年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率14.3% (平年6.7%)、25株当たり被害か所数0.9 (平年0.1) で平年に比べ多かった。	県内全域	多	45																		
			中	136																		
			少	273																		
			計	454																		
ハスモンヨトウ	上旬の巡回調査では、発生ほ場率9.5% (平年11.5%)、1a当たり白変か所数0.1か所 (平年0.2か所)、1㎡当たり虫数は0.2頭 (平年0.1頭) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率28.6% (平年38.2%)、1a 当たり白変か所数0.2か所 (平年0.5か所)、1㎡当たり虫数は0.5頭 (平年0.8頭) で平年並みであった。 8月1日～31日のフェロモントラップ (防府市牟礼) の誘殺数は3,630頭であった。 7月21日～8月20日のフェロモントラップ (県内5か所) の誘殺数は3,600頭 (平年4,273頭) で平年並みであった。 <u>フェロモントラップでの誘殺数 (頭)</u> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地点</th> <th>本年</th> <th>平年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>周南市熊毛</td> <td>1,623</td> <td>1,378</td> </tr> <tr> <td>山口市阿東</td> <td>687</td> <td>693</td> </tr> <tr> <td>萩市明木</td> <td>207</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>下関市清末</td> <td>214</td> <td>688</td> </tr> <tr> <td>柳井市伊陸</td> <td>869</td> <td>1,377</td> </tr> </tbody> </table> ※7月21日～8月20日の合計	地点	本年	平年	周南市熊毛	1,623	1,378	山口市阿東	687	693	萩市明木	207	100	下関市清末	214	688	柳井市伊陸	869	1,377	県内全域	中	45
地点	本年	平年																				
周南市熊毛	1,623	1,378																				
山口市阿東	687	693																				
萩市明木	207	100																				
下関市清末	214	688																				
柳井市伊陸	869	1,377																				
			少	227																		
			計	272																		
ウワバ類等の チョウ目	上旬の巡回調査では、発生ほ場率66.7% (平年75.3%)、1㎡当たり虫数0.5頭 (平年1.5頭) で平年に比べやや少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率76.2% (平年80.3%)、1㎡当たり虫数0.9頭 (平年1.4頭) で平年に比べやや少なかった。	県内全域	中	500																		
			少	227																		
			計	727																		
コガネムシ類	上旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年5.0%)、被害度0 (平年0.4) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率9.5% (平年8.7%)、被害度1.9 (平年1.8) で平年に比べやや多かった。	県内全域	中	91																		

2 果樹

2023年8月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)	
カンキツ (調査ほ場数:18) かいよう病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.6% (平年9.1%)、発病果率0.2% (平年0.6%)、発病度0.0 (平年0.3) で平年に比べやや少なかった。	県内全域	少	56
そうか病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率22.2% (前年5.3%)、発病果率0.4% (前年0.6%)、発病度0.1 (前年0.3) であった。	県内全域	少	223
黒点病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率77.8% (平年71.4%)、発病果率10.9% (平年18.1%)、発病度2.3 (平年4.7) で平年に比べやや少なかった。	県内全域	少	779
ミカンハダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率44.4% (平年38.6%)、寄生葉率10.7% (平年8.0%) で平年並みであった。一部で多発ほ場が認められた。	県内全域	甚多 少	56 56 334
			計	446
ミカンサビダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.5%)、寄生果率0% (平年0.0%) で平年並みであった。	—	—	—
チャノキイロアザミウマ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率22.2% (平年11.6%)、被害果率0.4% (平年0.4%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	少	223
ナシマルカイガラムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3% (平年28.3%)、寄生果率4.2% (平年2.0%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	多 中 少	56 111 167
			計	334
イセリアカイガラムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率22.2% (平年3.7%) で平年に比べ多かった。	県内全域	少	223
ルビーロウムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年1.7%) で平年並みであった。	県内全域	—	—
ヤノネカイガラムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.5%) で平年並みであった。	—	—	—
ツノロウムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.6% (平年0.5%) で平年に比べ多かった。	県内全域	少	56
アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.6% (平年3.0%)、寄生新梢率0.1% (平年0.2%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	少	56

2023年8月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
ナシ ナシヒメシンクイ	7月26日～8月25日のフェロモントラップ(萩市小川、下関市豊北)における誘殺数は33頭(平年65.7頭)で平年に比べやや少なかった。	県内全域	—
果樹全般 カメムシ類 (チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ)	7月29日～8月28日の予察灯(県内4か所)における誘殺数は286頭(平年434.1頭)で平年並みであった。 主要種はクサギカメムシであった。 7月26日～8月25日のフェロモントラップ(県内3か所)によるチャバネアオカメムシの誘殺数は9頭(平年861頭)で平年に比べやや少なかった。	県内全域	—

3 野菜

2023年8月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)																		
野菜、花き類 アブラムシ類	防府市牟礼の黄色水盤トラップ(8月1日～31日)の誘殺数は95頭であった。	県内全域	—																		
ハスモンヨトウ	8月1日～31日のフェロモントラップ(防府市牟礼)の誘殺数は3,630頭であった。 7月21日～8月20日のフェロモントラップ(県内5か所)の誘殺数は3,600頭(平年4,273頭)で平年並みであった。 フェロモントラップでの誘殺数(頭) <table border="1"> <thead> <tr> <th>地点</th> <th>本年</th> <th>平年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>周南市熊毛</td> <td>1,623</td> <td>1,378</td> </tr> <tr> <td>山口市阿東</td> <td>687</td> <td>693</td> </tr> <tr> <td>萩市明木</td> <td>207</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>下関市清末</td> <td>214</td> <td>688</td> </tr> <tr> <td>柳井市伊陸</td> <td>869</td> <td>1,377</td> </tr> </tbody> </table> ※7月21日～8月20日の合計	地点	本年	平年	周南市熊毛	1,623	1,378	山口市阿東	687	693	萩市明木	207	100	下関市清末	214	688	柳井市伊陸	869	1,377	県内全域	—
地点	本年	平年																			
周南市熊毛	1,623	1,378																			
山口市阿東	687	693																			
萩市明木	207	100																			
下関市清末	214	688																			
柳井市伊陸	869	1,377																			
オオタバコガ	8月1日～31日のフェロモントラップ(防府市牟礼)の誘殺数は55頭であった。	県内全域	—																		
シロイチモジヨトウ	8月1日～31日のフェロモントラップ(防府市牟礼)の誘殺数は74頭であった。	県内全域	—																		
コガネムシ類	7月21日～8月20日の予察灯(県内3か所)の誘殺数は291頭(平年310頭)で平年並みであった。	県内全域	—																		

お問い合わせ先
 山口県農林総合技術センター(山口県病害虫防除所)
 TEL (0835)28-1211(代)